

ただありのままを受け入れることができたなら、
 ここはおのずと回復する力を持っている。
 なにもしなくても大丈夫。
 ニーゼのように、ただそれを信じさえすれば。

映画『アトランタ』より

患者の輪や表情はなんと神々しいことか。
 ベリネール監督は、果敢とに彼らの魂が宿る
 瞬間をこそ撮りたかったのだろう。

最相模月（シンクロナイザー）の心と魂の記録

完璧な映画だ！
 患者を演じる役者たちは殊に素晴らしい。
 見事なテンポにユーモアをも加え、
 最高レベルのエンターテインメントに到達している。

ブライアン・レンガー（USA）の心と魂の記録

アイスピックが最新の治療道具としてもはやされた1940年代。
 心理療法の常識に居ることなく、アートや動物を介して人を癒した
 実在の女医、ニーゼ・ダ・シルヴェイラの気高さ魂の物語。

1944年、ブラジル。ひびきの女医が精神療法の門をたたく。彼女の道はニーゼ。
 ここでは希望のように電気ショックなどの革命的な治療が行われていた。患者を人
 扱いしない光景を目の当たりにし、ニーゼは苦悶を覚える。最終治療にしか興味のない
 男性医ばかりの院内で、彼女が身を置けるのは、ナースが運営する作業療法部門
 だけだった。そこでニーゼは患者に絵の具や筆、紙などを与えて、彼らが自由に
 表現できるよう教室をアトランタに作り変える。少しずつ開かれてゆく患者たちの心
 の扉。しかしそんな中、ある事件が起こる。

『セントラル・ステーション』や『シティ・オブ・ゴッド』など、ブラジル映画の
 傑作に新たな作品が加わった。ブラジル国内はもちろん、国際的にも最高レベルの
 ショールイロ国際映画祭で国際賞を受賞し、同年の東京国際映画祭ではアテンブラと
 最優秀女優賞を受賞した本作である。ドキュメンタリー自身の考案、ベリネール
 ・ユーメル監督が構想に15年、撮影期間4年をかけた丁寧に作りあげた。ニーゼを
 演じるのはブラジルを代表する女優、アロリア・ピレス。女医の女医を徹底的に
 演じている。



芸術療法とは？

高いところ、遠くを眺めたことのある「ここへ遊び」や「料理の」などは、子どもの成長や発達を促す一助として重要な役割があります。芸術療法（アートセラピー）とは、そんな芸術材料を有効にした心理療法のことを指します。芸術では表現できない心の世界や感情を、絵や音楽、ダンスなどのイメージ表現によって視覚表現の表に出し出し、自己表現への扉を開くことを目的としています。

（一般財団法人国際心療学会ホームページより）

監修：東京大学名誉教授・心療内科部長 伊藤野矢先生（東京大学医学部）

監修：アトランタ大学准教授、心理学者・心理療法士、心理学者・アトランタ大学、アトランタ大学心理療法士、アトランタ大学心理療法士、アトランタ大学心理療法士

監修：アトランタ大学准教授 映画『アトランタ』監督・脚本家D 伊藤：（アトランタ大学）

http://www.artspace.jp/ 03-5561-7777（受付時間）03-5561-7777（受付時間）03-5561-7777

12・17(土) 愛と感動のロードショー！ ユロスペース EUROSPACE

毎日アトランタ大使館
 [< O >] [O]
 8:00AM - 10:00PM (JST)

特別観覧券¥1,500（通常券¥1,000の倍）観覧券¥500